

ナイスの視線で、日常の楽しみをお届けする、西成発の地域情報誌

Take free!

なな

5月号
vol. 135

「めがね橋を切り取る」
南津守2丁目付近にて撮影

特集

になみもん

にしなりもん

西成にもまだまだ発掘されていない文化資源・社会資源は存在するはず。これら西成産のモノやコトを「にしなりもん」と名づけ、その由来やエピソードを辿っていきます。



伊藤さんと寺本館長

社会の眺めかた②

オレンジリボンは児童虐待防止運動のしるし。#189は児童相談所のフリーダイヤル。まだまだ、赤い羽根の共同募金や#110の警察ほどではないけれど、2000年11月に児童虐待防止法が施行されてからは、徐々にイメージがつながる人は増えてきた。児童相談所への児童虐待相談件数は、1990年には1101件だったのが、2015年には103260件と100倍になった。

児童虐待のニュースに接すると、鬼のような親のイメージを抱いてしまうし、メディアもそれを助長する。でも、本当の姿を知らされる機会はほとんどない。2018年秋からゆくとあいは、子どもを虐待してしまう親の回復プログラム「MY TREE」

アレンツプログラム」の実践をサポートする。なぜ「親の回復」に取り組むのか。そのキーマンである伊藤悠子さんに寺本館長と田岡がインタビューした。

虐待する親ではなく、傷ついた大人として

田岡 虐待をしてしまう親は、子ども時代と同じような体験をし、愛情表現の1つとして「暴力」を選択すると聞いたことがあるのですが。

伊藤 暴力の絆は深くても強いもので、愛情だと認識する人もいます。でも、国際調査によると被虐待経験者の7割は虐待する親にはなっていない。その違いは、過去の傷つき体験から回復できたかどうかです。虐待をしてしまった親と接してきて、「大事に

されたことがなく、自分は生まれてこなかったら良かった」という「自己否定の想い」が強く、「誰にも助けてもらえない。この子は私が自力で育て、生き延びるしかない」と、他者に助けを求められない「親意識があるように感じます」。

大阪市西区や神奈川県厚木市で子どもが衰弱死してしまった事件は、いずれもドアを封印していました。子どもを閉じ込めて隠していたというよりも、誰も助けてくれないから、子どもたちを守るために封印していた気がしてなりません。社会を信用できず、安心安全な自分たちの空間（ドメスティックシエルター）の象徴がドアの封印だったと。

田岡 虐待からの回復で大切な視点は？

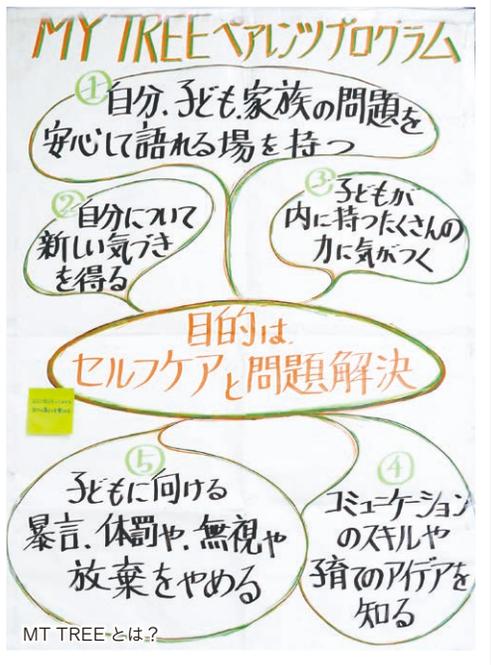
伊藤 2つあります。1つ目は「子どもは私と違う人間であることに気づくこと」、2つ目は「ひとりぼっちではないと気づくこと」です。

虐待していても密着度が高く、親子が同一人格であるかのように抱え込んでいる場合は親子分離措置を受けた時に激しく取り乱すことがよくあります。「虐待しているのになぜ？」と思うかもかもしれませんが、自分の体の一部がもぎとられた心境で、早く取り戻したい一心です。子どもは別人格と気づかなければ、なかなか回復につながりません。

2つ目の点は、MY TREEの取組みにつながります。児童虐待防止法ができた時は「①発



修生によるMY TREEのイラスト



見「②子どもの安全確保」が中心の議論でした。でも、引き離すばかりでなく「家族としての再統合」を目指すには、三次予防として「③親のケア」は不可欠です。では、何をするか。個人カウンセリングだけでなく、グループプログラムの効果が高いことが海外でも実証されていたので、森田ゆり先生が「MY TREE」というプログラムを開発しました。

親としてのスキルを教育するペアレンティングではなく、共通

の痛みを持つメンバーの間で自らを語り、虐待の根源にある傷つき体験に気づいてもらうためのプロセスワークです。その時に、同じ境遇の仲間や回復した仲間がいることが、ひとりぼっちではないという癒しにつながります。親の回復に関わる時は、「虐待をした親への支援」ではなく、「傷つきを負ったまま大人になった子どもへの支援」という視点で、本人が持つ力を信じて、その力を活かす視点が大切です。

ちも少しわかった気がします。

田岡 世間では芦原病院は経営破綻のゴタゴタの印象が強いですが…？

伊藤 大阪市が準公的に病院の経営に関わっていたにもかかわらず、他の市民病院のように補正予算化されることなく、突如「賞付金」が累積しているとされたのが発端です。報道に驚いた人たちが、芦原病院存続のための署名活動もしてくださいました。経営に関する考えが甘かった点も否定できませんが、民間移譲が決



定する前には黒字を出していたのに本当に無念でした。同和行政のありかたという点では、病院と行政の双方に問題があったと思います。

それでも、芦原病院のやってきたことには、誇りをもっています。単なる病院ではなく、保健所的な役割を担い、公衆衛生にも取り組ましました。また、芦原病院は生涯

教育の場であり、社会に貢献する人材育成も担っていました。大阪市立大学をはじめとする優秀な医師も共感し、最高の医療水準を実現し、地域との連携も発展していきました。

ルーツともいえるトラコーマの治療では、逆さまつげを抜き、目薬を渡すだけでなく、使っているタオルや洗顔のしかたを見せ

てもらった上で、点眼の方法や清潔維持の工夫を伝えたりしました。低体重児や周産期に発生する母子の問題に大阪市と芦原病院で15倍の違いがある



伊藤さんの大切な、いろんな“しるし”

あるとわかれば、シンナーが充満する仕事を控え、また受動喫煙に気を付けてもらうよう妊婦を訪問して回るなど、今の福祉や医療で注目されている、支援に向いていくこと(アウトリー

チ)は当たり前のようにやっていました。

寺本 いま解放同盟や労働組合など、かつての大衆運動は新しい運動のかたちを模索している。伊藤さんみたいに共感を持つ人と一緒に、ネットワーク型組織で活動ができないか考えているところ。何かええヒントはない？

伊藤 芦原病院は10代の妊娠出産者割合が全国で一番多いと言われていました。若いお母さんは子育てに一生懸命。だけど、不器用だったり親の応援が望めなかつたりで、何らかのサポートが必要なことも多く、芦原病院では当たり前のように子育てを応援していました。

そこに芦原病院の経営問題が出てきたのです。赤字解消に向けて、365日24時間体制の産婦人科を見直し、お産部門は閉鎖され予算も少なくなり、これまでの

ようなアウトリーチ支援ができない。そんな時、子どもの虐待防止の取り組みを応援する看護協会のモデル事業「まちの保健室事業」が受託でき、支援を継続できることになりました。

ここから病院だけでなく、地域とのつながりが強くなった気がします。芦原橋駅のガード下の焼き鳥屋さんで谷川さんや寺本さんに出会えたり、「わがまち西成子育てネット」で虐待防止ボランティア育成に取組んだり、青少年会館でヤングママ・プレママの居場所「ころころらぶ」をやったり、このネットワークは西成の宝になっていると思います。

どっちにしても寺本さんがやるしかない。ネットワークは組織というより「ひと」だから。一緒に活動をして、共感をうむしかないのでは。あと、なんとかせなあかんと思える現場に近いことが大事かな。

文責：田岡秀朋

虎 緩

おう えん だん



第12回

子育てに取り組む人・団体・施設を紹介して、子どもを支えるネットワークをどんどん広げていきます！



しっかり口腔ケア！ 「子どもデンタルフェス」

口腔ケアを知ってもらうために

私は「歯科は単にむし歯を治療するところ」と思っていたのですが、口の健康を保つことは体全体の健康を守ることに繋がると教えてもらいました。むし歯や歯周病を予防するなど適切な口腔ケアを心がけることで、健康を保つことができます。

そこで、地域の子ども達にも口腔ケアの重要性を理解してもらうために、毎年5、6月ごろにフェスを開催しています。堀口歯科は「歯ブラシ一本の購入でも気軽に立ち寄れる歯医者を目指している」とのこと



【沖田一志】PCの処分どうしてますか？無料回収してる会社も沢山あります。何で？とネットで調べてみると廃棄PCでも1台約500円の価値。分解して分別、処理すると貴金属が回収できるようです。



堀口歯科

(上下とも)子どもデンタルフェスの様子



キッズルーム

なので、気軽にお子さんと一緒にフェスにも参加してみてください。

バルーンアートショーや出店を企画中

フェスは今年で5回目。本誌(121号)で紹介した「志塾フリースクール」さんが協賛となっており、子どもが遊べる屋台の出店が予定されています。過去の出店では輪投げ、宝探し、おもちゃすくい、水鉄砲作りなどで、たくさんの子どもで賑わったそうです。また、子どもが口腔ケアに関心を寄せてくれるように、クイズラリーをしたり、口腔内カメラや往診用治療機器を展示したりしたこともありました。

今年のフェスは現在企画中ですが、昨年引き続きバルーンパフォーマー「ちいな」さんのバルーンアートショーが予定されています。

「ジヤムおじさん」の思い

「なび」の発行人である弊社は過去に堀口歯科のお隣でパン屋を営んでいました。そのパン屋の厨房では生地からパンを焼

いて販売しており、パンの香りが店内に漂っていました。

堀口歯科の創設者である故堀口陽万先生には鼻肩にしていただいていて、店内でそのお姿をよく見かけました。ご健在の頃に「アンパンマンのジヤムおじさん」に似ている」と社内でも噂していたのを思い出しました。歯科のホームページでは、ジヤムおじさんの優しい笑顔がいまもご覧いただけます。

レポート：沖田一志

堀口歯科

大阪市西成区長橋3の7の28の1001
TEL:06-6567-0648
FAX:06-6567-0091
http://www.horiguchi-dc.jp/
午前診:9時半~12時半(月~土)
午後診:15時~19時半(月~金)

子どもデンタルフェス

開催日:6月2日(土)
時間:午後2~5時
場所:堀口歯科院内~駐車場
料金:無料



【田岡秀朋】「なび」創刊から11年分の「いい湯かげん」をまとめた冊子ができた。お手に取りたい方があれば、Web なび (facebook) にメッセージをお願いします。



【佐々木敏明】春が来た歌う男のなり貧し背に桜浴び基仲間の暇らんまんこの宵は桜色なりブルームーン



二井土 みよ(にいど みよ)さん

今月のおとなりさんは、二井土みよ(にいどみよ)さん。ゆ〜とあいの会員さんでは、おそらく最年長の今年で93歳になります。「毎日がほんとうに幸せ」という二井土さんは、編み物やカラオケなど、趣味の習い事に夢中な毎日。病気をしないから病院に通うこともないという二井土さんは、習い事に行くときも、住吉大社へお参りに行くときも、いつもの乗りなれた自転車で通います。

いま一番夢中の「編み物」はやっていないと不安になるくらい生活の一部になっています。編み物に出会えたこと、編み物を通じて出会った人に本当に感謝をしているそうです。「毎日が笑顔」なおとなりさんのご紹介でした。

お風呂さん
ものがたり

『西成区 銭湯』と検索すると、20件以上がヒットする。その数は他の地域と比べても群をぬいて、「西成は銭湯多いなあ」という声をよく聞く。そこで、それぞれの銭湯の特徴やオーナーのこだわり、歴史などを取材し、西成区の銭湯の魅力に迫っていく。少し銭湯に行きたくなるコーナー。

二軒目 千成温泉

地下鉄花園町駅から、少しだけ北に入り、しばらく進んだ先にある、商店街アーケードの中のお風呂屋さん。

蒸し風呂(ミストサウナ)／電気風呂／葉湯／水風呂／うたせ湯／マッサージ機／コインランドリーが設置され、浴室入り口に洗濯機が3台、乾燥機1台が並ぶ。中に入ると、床は石畳とグレーのタイルで埋められ、上品な雰囲気が大だよっている。

「お風呂やさんのがたり」第2回目は千成温泉を取材し、代表の角屋正進さんにお話をうかがった。

千成温泉は1953年に開業し、今年で65年目を迎える。角屋さんは10代のときから修行にでて、1977年に2代目代表となった。ちなみに名前の由来は、開業前に営んでいた豆腐屋があった『千成市場』。西成の「成」をとっているのかと思っただが予想ははずれた。

千成温泉は開業時に新たに建設したのではなく、元々銭湯だったものを買い取ったそう



住所：西成区鶴見橋2の5の6
電話：06-6562-1405
営業時間：午後1時～深夜1時
定休日：毎週木曜日
料金：大人440円・中学生300円・小学生150円・幼児60円

だ。新しく開業する場合、他の銭湯と150M以上離れていないと建設できないからだという。当時、西成には銭湯が70軒以上あったため、新しく建設することは困難だった。角屋さんは昔と今の銭湯の違いについても語ってくれた。昔の千成温泉の利用客は1日平均300人以上だったが、今では100人ほど。もちろん、家庭用風呂の普及率が上がったことが主な要因だが、角屋さんが興味深い話をしてくれた。

「昔はテレビの無い家が多かったが銭湯にはテレビがあった。よくお客さんは脱衣所でワイワイ言いながらテレビを見ていた。そのこともおだ。新しく開業する場合、他の銭湯と150M以上離れていないと建設できないからだという。当時、西成には銭湯が70軒以上あったため、新しく建設することは困難だった。角屋さんは昔と今の銭湯の違いについても語ってくれた。昔の千成温泉の利用客は1日平均300人以上だったが、今では100人ほど。もちろん、家庭用風呂の普及率が上がったことが主な要因だが、角屋さんが興味深い話をしてくれた。

6 畳間

ハナレバナレになった人とまぢ。くらしの窓から、紡ぐヒントを探してみる。おたがいさん

建物の骨組みの一つに鉄筋コンクリートがある。大きな建物に使われるイメージがあつてよく耳にする名称だけど、意外と知られていない支え合いの話をひとつ。読んで字のごとく鉄筋とコンクリートから成る骨組みで、鉄筋とは鉄の細長い棒のこと。押されると曲がつまが、引っ張る力にはとても強い。一方コンクリートは沢山の石や砂を乾けばとても硬くなるセメントという接着剤で固めたもの。だから押される力には踏ん張ってくれるが、引っ張られると弱い。この二つがお互いの良さを活かして人を守っている。

例えば建物の梁は、重さで下方にたわむので、下の部分には引っ張られる力が掛かる。だからその部分の鉄筋を太くしたり、増やしたりする。反対に梁の上の部分には押される力が掛かるから、鉄筋が少なくてもコンクリートが支えてくれる。また、この二つの材料は寒暖差による伸び縮みの大きさが殆ど同じ。温度変化にも負けずに一体となって力を合わせ相性の良さがある。何気なく建っているコンクリートの建物も、こんなことを知れば少し違って見えるかもしれない。(安田拓也)



鉄筋コンクリートの共同住宅



[安田拓也] 先日、僕の住むアパートに16年住んでいるご夫婦の、80歳をまわると旦那さんが病院で息を引取った。そして奥さんは娘さん達の住む岡山でまた家族で過ごすことになった。お元気で。



[西田吉志] 今年1月26日から生活困窮者の生活・自立支援のためにプレスタートさせた「西成くらしセーフティストア」事業。4月から本格スタートさせました。課題は沢山、でもやっていこう!



[寺島史視] 桜がまだ満開のなか、浪速区でさくらまつりがあった。オープニングとして、太鼓集団「怒」と「怒塾」の子どもたちが和太鼓を演奏。天気にも恵まれ多くの方に訪れていただいた。



[谷口円] 注射が本っつ当に苦手なのですが、先日勇気を出して健康診断(採血)に行きました。結果、看護婦さん2人になだめられながら、泣きながら採血...いい歳なのに、色々まずいです。

「社会を知って」「社会に踏み出す」
そんな L's College Plus の取り組みを
紹介していきます。

\\ はじめまして よろしくお願いたします //

と身に付けることに取り組んでいます。

今までは家族や先生に言われて動くことが多く、正直言って、「仕事をする」ということがまだまだ実感できていませんでしたが、これからの一年、二年でしっかり成長し、働いて、お給料をいただけるように頑張りたいと思います。

まだまだ恥ずかしい気持ちが強くありますが、みなさんにお会いしたら、「おはようございます」「こんにちは」とあいさつしますので、よろしくお願いたします。



こんにちは。L's college Plus です。「エルカレプラス」または「プラス」と呼んでください。この4月から「ゆ〜とあい」2階にやってきました。

私たちエルカレプラスは、芦原橋にある知的障がい者の高等学校・支援学校高等部卒業後の学びの場「L's college おおさか」（エルカレ）で2年間の自立訓練を修了した一期生7名、二期生10名の合計17名とスタッフ4名からなる就労継続支援B型事業所です。エルカレ修了後さらに2年間の学びを通じて就労や就労移行支援を目指します。

午前中は主に講座で「コミュニケーション」や「現代社会」、「自立活動」、「からだ」等で社会的自立のための心の準備をしています。

午後は清掃や古着販売、室内作業等の実習を通じて「働く」事の実際と技能を学んでいます。特に毎日の学習後の清掃は働くことの基本を学ぶ上で一番大切な、心と技能、礼儀をしっかり

今年2月、地元の町会長から「スマイルゆ〜とあい」の施設長である私に、町会長になってほしいというお話をいただいた。ご高齢の町会長を助ける意味でも、隣保事業を行う施設としても、地元町会とのつながりは大切なので、引き受けることにした。

これまでたまたま町会長会議にお邪魔する部外者だったが、これからは町会長、連合町会長として役割を担う立場にある。そういう立場で関わってみると、「どうやって地域を元気にするのか」などの地域課題がリアルに見えてくる。また、町会長や民生委員、ネットワーク委員、女性会、保護司など、地域では意外と多くの方が地域住民のために活躍されているのも見えてきた。

わが隣保館や地元社会福祉法人が地域で地域のために具体的な提案をしながらお手伝いできれば、面白い地域福祉活動になると思う。財源を得る手法を検討することも私たちの役割だと感じている。

(寺本良弘)

皮算用 胸算用

にしなり隣保館の館長が日々の出来事について胸のうちに皮算用していることを語っていくよ。



い湯かげん

都構想への対案と維新と競う新人擁立が必要

橋下徹さんが「市民の関心は低い」と評論し、安倍首相も「都構想に反対」と語って梯子を外したことから、秋の住民投票の雲行きが怪しくなってきた。時を同じくして、森友、加計、陸自日報、働き方法案等で、一強の弊害のよる不祥事が続出し、さすがの安倍内閣の支持率も急落し始めた。野党の支持率は相変わらず低迷だが、何だか激動の政局に見えてきた。一見、安倍崩壊の序曲に見えるし、大阪の維新の急落も近い、とボクの知人達は言うのだが、ここに来て、「安倍以外に総理を任せられる人はいるのか」との論調も見え始め、ボクは、「混乱去って、安倍返り」を心配している。大阪でも、「みんな弱くなって、維新の基礎体力」を警戒している。

やっぱり、野党というか、「もう一つの選択肢」が必要なんだと思う。安倍さんは、これで憲法改正の悲願を諦めるんじゃないかとも思うが、教育無償化や消費税の先送りや労働法制等、野党の主張まで取り込んで憲法を改正したいという熱意は、それなりに国民に浸透してきた。一方、前原vs枝野の党首選で平和や財政に係わる根本論議は見送られ、ついには民進党のほぼ三分裂に至り、一強打破の好機を見失った。その後の三つの旧民進党の話題は、お茶の間から消えて久しい。これでは「安倍返り」が心配されるはずだ。「平和のための憲法と法制度のあり方」や「新たな社会保障のための財政のあり方」の大胆な党内議論を起すことと、

差し迫った政権追及の二兎を追うことは、そんなに難しいことなんだろうか。

安倍改憲に反対するのと同じように、大阪市を分割してしまう都構想とその住民投票には反対だが、大都市問題を真つ正面に取り上げた維新の功績は認めて良い。だから、ボクはポピュリズム批判ではなく、都構想の対案を競うべきだと思いつけてきた。都構想の二つの主訴「ワン大阪」と「ニアズベター」には賛成だ。府と市の統合本部設置等で「ワン大阪」、また区長の公募等で「ニアズベター」が動き始めたのは維新の功績大だとも認める。違つのは大阪市を分割する「ワン大阪」なのか、大阪市のまま残しての「ワン大阪市」なのかであり、特別区じゃなく総合区では「ニアズベター」はできないのかで違いである。だったら、総合区こそニアズベター、大阪市を残したままの自治体共同でワン大阪という主張をはっきりさせて市民に明快な選択肢を示すべきだと思うが、なかなかそうならない。前回の住民投票では、皮肉にも橋下人気で市民の関心が高まった分、さ

すがに大阪市は小さすぎじゃないという世論が僅差で競り勝つた、その事実を忘れるべきじゃない。今度は橋下さんがいない分関心は低くなり、「下がる維新」と「上がらない反維新」が、まるで野球の「消化試合」のような住民投票と統一地方選挙とつちが先かわからないが、なってしまうことが心配だ。幸いと言えば語弊があるが、維新は強い基礎体力に頼って「下げ止め」を狙っただろうから、反維新の側は「ワン大阪市」と「総合区(市民参加)」による対案で一致し、どの党かではなく、維新と競える新人候補を各区分で擁立することで「上げ幅」を広げることだと思つた。そんな折、東住吉区で袈裟丸朝子さんが立候補を表明されたのは朗報だと思つた。



富田一幸

人間のしあわせ、福祉のあり方、そして新しい社会の結びつきを求めて、これからも「いい湯かげん」のテーマ探しに出かけます。



[若松司] 年度替わりに『なび』の振り返り。作り手としてはそれなりに思いを巡らして誌面を作っているつもりだけど、そのつもりが読者にちゃんと届いているかは別問題。工夫が要るね。



[山村裕太] 野球漫画を読んでいる「160キロを投げるピッチャーはいない」と小さいころ言っていました。まさかメジャーで160キロ投げてホームラン3試合連続で打つ選手がでるとは思わなかった。

地域の縁を心でつなぐ



心の時間

となりかねません。

それでは法事は何の為にするのでしょうか？
生前に何も出来なかったから、故人への恩返し
の為に、という方もあるでしょう。私は、故人に
敬意を払い、共に過ごした時間を懐かしむ中、
残った者の「心」が深まり成長する行事と考えて
おります。

ある法事でのこと。仏前には故人の好きだった
果物や菓子がお供えされていました。お供え物
の一つ一つから故人を偲びました。ご家族はこ
れらのお供え物遊びを楽しみにされていたそう
です。あたたかい笑顔を見ると、故人が家族
の「心」の中で生きていてることを感じました。法
事は、こんなすてきな時間です。 松向寺 通法

先日「親の法事をしないと
ダメですか？」と尋ねられ、
こう答えました。「法事は大
切な行事ですが、しないと
ダメということはありませ
ん。ご自身がしたいと思われ
るようでしたら、ご連絡下さ
い。」「人」の「為」と書いて「偽
り(いつわり)」。」「故人の為に
しないとダメですか？」と尋
ねている間は、「偽り」の法事

環境の変化をチャンスに！

入学や働き始め、異動など、4月は新たな生活が始まる。実際に自分のまわりでも何人もの人が新しい環境で生活を始めている。そこには、いい意味での緊張があり、新しい人間関係づくりや新しい仕事を覚えていくなど、スキルアップするにはとてもいい機会だ。

ということは頭でわかっているが、いざ自分のことになると話が違っている。2年前に、隣保館に異動した時は事務所のスタッフごと異動したので、一緒に相談しながら取り組めた。この4月からは、隣保館の業務も行いながら、あちこちでも仕事をするようになったので、いまだにリズムが掴めていない。

ただ、行動範囲が広がり、新たな仕事に向かうことができています。世の中にはまだまだ解決できていない課題がたくさんあるにも関わらず、新たな課題が増えてきている。という意味では毎年、同じことを繰り返すだけでは課題が増えていくだけになる。せっかく動きやすい環境になったので、小さなことからでも始めたい。

COUNT 2.99

隣保館などで事業を行う中で感じたことをつぶやいて、西成のまちづくりに役立てていきます！



ナビ編集長 寺嶋公典



ゆ〜とあい

にしなり隣保館

にしなり隣保館「スマイル ゆ〜とあい」は、地域コミュニティ全体が抱える課題の解決をめざす民設民営の福祉施設です。日々悩んでおられる困りごとはありませんか？お悩み解決のためにできることをいっしょに探しましょう。

なび5月号(vol.135)
発行日:2018年5月1日(創刊日:2007年1月1日)
発行:株式会社ナイス
住所:大阪市西成区長橋3-6-33
電話:06-6563-1156
E-mail:info@nice.ne.jp
url:http://www.nice.ne.jp/

編集長:寺嶋公典
編集:沖田一志、佐々木敏明、田岡秀朋、
寺島史視、西田吉志、安田拓也、山村裕太、
若松司(あいうえお順)
イラスト:hidarimak デザイン:谷口円

facebook: <https://www.facebook.com/navi.nishinari/>

facebook

